

# し尿・雑排水処理施設 さらにグレードアップ

## 自動制御と監視機能一体化

### 「パッケージ水神」を発表

#### 小松電気産業が開発



小松電気産業株式会社（本社・八束郡八雲村、小松昭夫社長）は二十日、自動制御と監視機能を一体化したし尿・雑排水処理システム「パッケージ水神」を新しく開発した、と発表した。昨年十月に発表した「NEWやくも水神」を改良したもので、今までオーダーメイドで作っていた製品をイージョーダー化、タッチパネルを使用することによる操作性の飛躍的な向上がポイント。

同社では一九九二年、NITの公衆電話回線とコンピュータを使用した上・下水処理システム「やくも水神」を発表。従来、コストや管理の問題から設置が困難とされていた農山村の下水処理の低コスト化、イージョーメンテナンスを可能にした。さらに、昨年は同機種を改良した「NEWやくも水神」を発表。佐田町反

辺集落排水集落排水処理場に第一号機を設置し運転を始めた結果、放流水中のCOD（化学的酸素要求量）を再利用可能水準まで引き下げることに成功。さらに、窒素濃度も従来機種の十分の一から十五分の一まで低減した。

この日発表された「パッケージ水神」は、今まで別々のシステムで構成されていた計測制御と監視装置を一体化。計測・自動制御・監視が一つになり、公衆回線につながるだけでシステムとして機能。一ホストから、十か所の処理場・四百五十か所の中継ポンプを管理することが出来る。また、

従来機にあったスイッチ・メーターなどのハードウェア部を全てソフトウェア化し、タッチパネルでの操作を可能にした。また、誤った設定に対してのチェック機能が充実し、操作ミスの危険性を大幅に軽減。盤面から計器・スイッチがなくなり、感電事故の心配がなくなったことなどが大きな特徴。

従来機のやくも水神は県内の十市町に三十二カ所、鳥取、兵庫県の各町に十九カ所、また昨年発表されたNEWやくも水神は鳥根、鳥取両県七カ所に設置されている。パッケージ水神もすでに大原郡木次町に納入され、来年度から稼働すること。飯石郡掛合町でも来月納入を予定している。

パッケージ水神は、ブランド建設がオーダーメイド方式をとったことなどから、NEWやくも水神の自動制御方式（四千万円）に比べ、同方式で三千二百万円となり大幅なコストダウンに成功した。

小松社長は、「水処理プラント（コンピュータによるパケテリアの自動制御）を十カ所程度建設し、管理システムを確立することにより関連産業を起す」「広く全国・世界に情報を発信し、この地を『水のメッカ』とする」などと今後の展望を示し、「新社会システム産業の創造により、『夢とロマンと使命感』を持った若者の定住化を図る」としている。